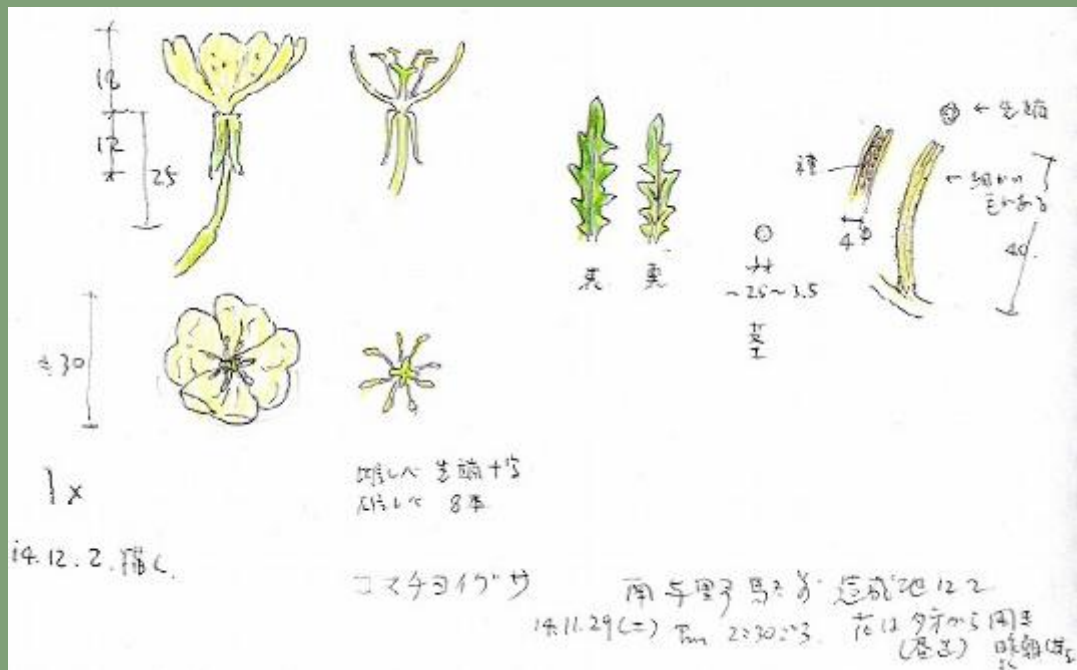
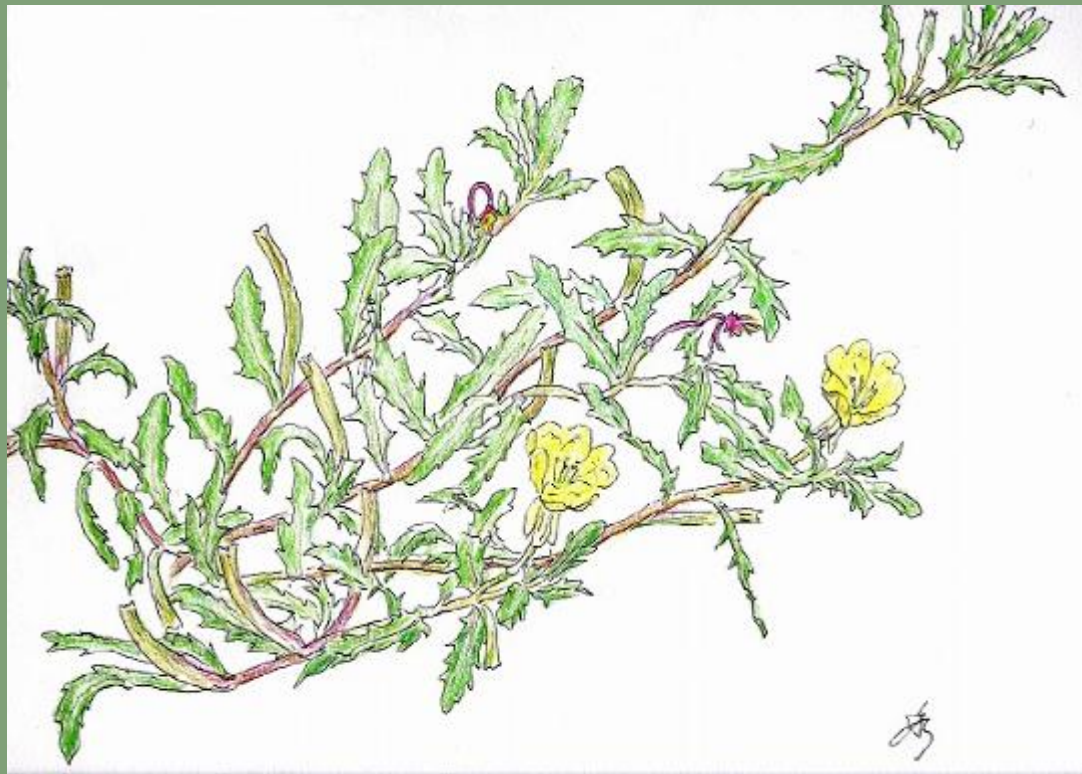


見沼田んぼ・野草スケッチ 「コマチヨイグサ」 小待宵草

科名：アカバナ科 マツヨイグサ属 コマチヨイグサ種

花言葉：ほのかな恋、浴後の美人、静かな恋、移り気



P.S. 12月になろうとしているのに、5～9月が花期のはずが、寒くなってもコマチヨイグサの花が咲いていました。温暖化のせいか帰化植物は季節はずれでも温度条件などがあえば時と場所を選ばず開花しています。生命力と競争力は旺盛です。



「コマチヨイグサ」

原産地：	北アメリカ原産
生育地：	日本では1910年代（嘉永年間）に初めて確認。本州・四国・九州に広く定着、北海道でも確認される。多年草, 越年草。
根：	
茎：	草丈 20-60cm。
葉：	葉は切れ込む
花期：	5～9月
花・花色：	黄色の4弁花（萎むと赤色に変わる）3～5cm
種子：	
特徴：	鳥取砂丘を緑化し、又、在来種と競合し、在来種の数々を大きく減らし、生態系を崩す事から外来生物法により要注外来生物に指定され、現在各地で駆除が実施されている。
名前の由来：	マツヨイグサ属の中では花が小さいことに由来する。 記述は、ウィキペディアのサイトなどを参考にさせていただきました。 2016.12.5